

国語科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新しい国語 7 2 7 8 2 7 9 2 7
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話すこと・聞くことについては、例えば第2学年においては、聞き手の立場や考えを想定して説得力のあるプレゼンテーションをしたり、メリットとデメリットを書き出して1つ1つについて検討をしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えを比べながら話したり、相手の立場を尊重して話し合ったりすることができるようになっている。 ○ 書くことについては、例えば第3学年においては、ポスターやロゴマークを比較し批評する文章を書いたり、環境問題について集めた情報をミニ雑誌にまとめたりする活動を通して、目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書くことができるようになっている。 ○ 読むことについては、例えば第2学年においては、文学作品を読んで表現の工夫について感想を交流したり、新聞記事を読み比べて印象の違いについて話し合ったりする活動を通して、目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読み、情報を集め効果的に活用することができるようになっている。 ○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、例えば第1学年においては、現代語とは異なる言葉や表現に注意しながら古文を音読する活動や、単語の類別を理解する活動を取り上げている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応については、各学年、「言葉の力」において、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する学習活動が取り上げられている。
内 容 排 列 の 構 成 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、第2学年で様々な情報手段を使って討論のテーマを決めてメリットとデメリットを出し合う活動の後に、第3学年で互いの考えを生かし問題を解決するために話し合う活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、第1学年で「話すこと・聞くこと」は3教材、「書くこと」は7教材、「読むこと」は18教材であり、総ページ数は328ページで前回より約5%増となっている。また、第2学年は336ページ、第3学年は336ページとなっており、それぞれ前回より約5%増となっている。
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫については、・読書に親しむ態度を養うことができるよう、全学年において、読書教材の後に「読書案内」を掲載している。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、学び方を確かめることができるよう、学習のねらいや進め方を示した「目標」や「てびき」を全学年に設けている。 ○ 使用上の便宜については、全ての生徒が学習しやすいよう、判別しやすい文字の大きさにするなどの工夫がされている。また、「読書への招待『小さな労働者』」・「アイヌ新謡集」など、北海道にかかわる教材を取り上げている。
その他	

国語科調査研究報告書

書名 観点	学校図書 中学校国語 728 828 928
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話すこと・聞くことについては、例えば第2学年においては、条件に沿って必要な資料を準備してプレゼンテーションをしたり、立場や役割を決めて討論をしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えを比べながら話したり、相手の立場を尊重して話し合ったりすることができるようになっている。 ○ 書くことについては、例えば第3学年においては、詩や絵本を読み批評する文章を書いたり、中学校生活を振り返ってエッセイを書いたりする活動を通して、目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書くことができるようになっている。 ○ 読むことについては、例えば第2学年においては、文学作品を読んで考えたことを交流したり、筆者の考えに対する自分の考えを明確にして読んだりする活動を通して、目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注目して読み、広い範囲から情報を集め効果的に活用することができるようになっている。 ○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、例えば第1学年においては、リズムを味わいながら古文を読む活動や、音声のしくみについて理解を深める活動を取り上げている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応については、各学年とも、「ついた力を確かめよう」において、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する学習活動が取り上げられている。
内容の 排列、 構成、 分量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、第2学年で対立する立場で意見を深めディベートを行う活動を学習した後に、第3学年で様々な立場から意見を出し合っパネルディスカッションをする活動を取り上げるなど、系統的・発展的な学習ができるような工夫がされている。 ○ 内容の分量については、第1学年で「話すこと・聞くこと」は6教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は35教材であり、総ページ数は326ページで前回より約18%減となっている。また、第2学年は334ページ、第3学年は、321ページとなっており、それぞれ前回より約18%減となっている。
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫については、読書に親しむ態度を養うことができるよう、全学年において、読書教材の後に「読書に広げるために」を掲載している。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、学び方を確かめることができるよう、学習のねらいやポイントを示した「学びの窓」を全学年に設けている。 ○ 使用上の便宜については、全ての生徒が学習しやすいよう、判別しにくい色の組合せは行わないなどの工夫がされている。また、「片言を言うまで」・「アラスカとの出会い」など、北海道にかかわる教材を取り上げている。
その他	前回のA5版からB5版に変更

国語科調査研究報告書

書名 観点	三省堂 現代の国語 7 2 9 8 2 9 9 2 9
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話すこと・聞くことについては、例えば第2学年においては、資料や機器を活用してプレゼンテーションをしたり、異なる立場や考えを尊重しながらパネルディスカッションをしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えを比べながら話したり、相手の立場を尊重して話し合ったりすることができるようになっている。 ○ 書くことについては、例えば第3学年においては、自分で課題を探して批評する文章を書いたり、言葉にまつわる作品を集めて文章にまとめたりする活動を通して、目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書くことができるようになっている。 ○ 読むことについては、例えば第2学年においては、文学的な作品を読んで考えたことを交流したり、説明的な文章から主張をとらえ考えをまとめたりする活動を通して、目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読み、広い範囲から情報を集め効果的に活用することができるようになっている。 ○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、例えば第1学年においては、現代語とのつながりを考えて古文を音読する活動や、単語の類別を理解する活動を取り上げている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応については、各学年、「読み方を学ぼう」において、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する学習活動が取り上げられている。
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、第2学年で根拠をもとに主張文を書く活動を学習した後に、第3学年で論理の展開や資料の引用を工夫するなどして説得力のある批評文を書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的な学習ができるような工夫がされている。 ○ 内容の分量については、第1学年で「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は320ページで前回より約5%減となっている。また、第2学年は324ページで前回より約6%減、第3学年は、308ページで前回より約1%増となっている。
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫については、読書に親しむ態度を養うことができるよう、全学年において、読書教材の後に「私の本棚」を掲載している。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、見通しをもって学習ができるよう、学習を通して身に付ける力のポイントを示した「学びの道しるべ」を全学年に設けている。 ○ 使用上の便宜については、全ての生徒が学習しやすいよう、判別しにくい色の組合せは行わないなどの工夫がされている。また、「短歌十首」・「動物園でできること」など、北海道にかかわる教材を取り上げている。
その他	

国語科調査研究報告書

書名 観点	教育出版 伝え合う言葉 中学国語 730 830 930
取扱 内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話すこと・聞くことについては、例えば第2学年においては、図表などの資料を用いて展開を考えてプレゼンテーションをしたり、社会生活の中から話題を決め司会や提案者の役割を考えて討論をしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えを比べながら話したり、相手の立場を尊重して話し合ったりすることができるようになっている。 ○ 書くことについては、例えば第3学年においては、文章の構成を選択し広告を批評する文章を書いたり、中学校で書いた作品を集め文章の形態などを工夫して作品集にまとめたりする活動を通して、目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書くことができるようになっている。 ○ 読むことについては、例えば第2学年においては、描写の効果や登場人物の言動の意味に着目して読み深めたり、図書館やインターネットを活用して調べたりする活動を通して、文章の内容や表現の仕方に注目して読み、広い範囲から情報を集め効果的に活用できるようになっている。 ○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、例えば第1学年においては、歴史的仮名遣いに注意しながら古文ノートに書く活動や、音声の仕組みについて理解を深める活動を取り上げている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応については、各学年、「ここが大事」において、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する学習活動が取り上げられている。
内容 の 排 列 ・ 構 成 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、第2学年で複数の考え方ができる事柄について立場を決めて根拠を明確にした意見文を書く活動を学習した後に、第3学年で図表などの資料から読み取ったことを示して説得力のある意見文を書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的な学習ができるような工夫がされている。 ○ 内容の分量については、第1学年で「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は19教材であり、総ページ数は336ページで前回より約11%増となっている。また、第2学年は348ページで前回より約10%増、第3学年は、348ページで前回より9%増となっている。
使用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫については、読書に親しむ態度を養うことができるように、全学年で「読んでみよう」などを掲載している。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、学び方を確かめることができるよう、学習の進め方や重点を示した「みちしるべ」を全学年で設けている。 ○ 使用上の便宜については、全ての生徒が学習しやすいよう、判別しやすいレイアウトにするなどの工夫がされている。また、「風少年」・「悠久の自然」・「文化としての科学技術」など、北海道にかかわる教材を取り上げている。
その他	

国語科調査研究報告書

書名 観点	光村図書 国語 7 3 1 8 3 1 9 3 1
取扱 内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話すこと・聞くことについては、例えば第2学年においては、資料や機器を効果的に使用してプレゼンテーションをしたり、役割を決めてパネルディスカッションをしたりする活動を通して、目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えを比べながら話したり、相手の立場を尊重して話し合ったりすることができるようになっている。 ○ 書くことについては、例えば第3学年においては、選んだ事柄を分析し批評する文章を書いたり、紙面構成を考えて修学旅行記を編集したりする活動を通して目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書くことができるようになっている。 ○ 読むことについては、例えば第2学年においては、文学的な作品を読んで感じたことを交流したり、様々な方法で集めた情報を比較したりする活動を通して、目的や意図に応じ文章の内容や表現の仕方に注意して読み、広い範囲から情報を集め効果的に活用することができるようになっている。 ○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、例えば第1学年においては、歴史的仮名遣いに注意して古文を音読する活動や、単語の類別を理解する活動を取り上げている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応については、各学年、「学習の窓」において、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する学習活動が取り上げられている。
内容の 排列、 構成 ・ 分量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、第2学年で対立する考えについて立場と根拠を明確にして意見文を書く活動を学習した後に、第3学年で論理の展開を工夫し資料を適切に引用するなどして説得力のある批評文を書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的な学習ができるような工夫がされている。 ○ 内容の分量については、第1学年で「話すこと・聞くこと」は6教材、「書くこと」は14教材、「読むこと」は27教材であり、総ページ数は330ページで前回より約4%増となっている。また、第2学年は328ページ、第3学年は310ページで前回より約3%増となっている。
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫については、読書に親しむ態度を養うことができるよう、全学年において、読書教材の後に「読書案内」を掲載している。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、学び方を確かめることができるよう、教材でどのような力を身に付けるかを示した「学習」や「目標」を全学年に設けている。 ○ 使用上の便宜については、全ての生徒が学習しやすいよう、判別しにくい色の組合せは行わないなどの工夫がされている。また、「桜守三代」・「流氷と私たちの暮らし」など、北海道にかかわる教材を取り上げている。
その他	